

topic

- 【1】19日集会で現行保険証存続の訴え
- 【2】歯科決起集会／いのちまもる総行動／憲法集会in山梨／社会保障学校／『社会保障』購読・活用のよびかけ

# 山梨 社保協 ニュース

**山梨県社会保障推進協議会**  
 〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-9-28  
 勤医協駅前ビル6階  
 TEL/FAX 055(222)5882  
 syaho@s.yamanashi-min.jp

# 現実・安心の医療のために 現行保険証の存続を

## 保険者別のマイナ保険証利用状況（2023年8月実績）

山梨県保険医協会・伊藤龍吾事務局長まとめ

※マイナ保険証利用割合＝マイナ保険証利用件数÷オンライン資格確認利用件数

### 全国健康保険協会／健康保険組合

保険者名	マイナ保険証	
	利用割合	加入者数
1 社会保険支払基金健康保険組合	13.7%	7,167
2 BIPROGY健康保険組合	12.0%	17,014
3 PHC健康保険組合	11.7%	11,138
4 佐賀銀行健康保険組合	10.2%	3,444
5 鹿児島県信用金庫健康保険組合	10.1%	2,301

### 共済組合

保険者名	マイナ保険証	
	利用割合	加入者数
1 厚生労働省共済組合東海北陸厚生局支部	13.0%	612
2 地方職員共済組合鹿児島県支部	12.4%	13,859
3 厚生労働省第二共済組合国立療養所栗生楽泉園所	12.3%	216
4 文部科学省共済組合鹿屋体育大学支部	12.1%	327
5 厚生労働省共済組合鹿児島労働局支部	12.1%	1,308

### 後期高齢者医療広域連合

保険者名	マイナ保険証	
	利用割合	加入者数
1 北海道後期高齢者医療広域連合（礼文町）	32.4%	425
2 奈良県後期高齢者医療広域連合（上北山村）	28.7%	139
3 北海道後期高齢者医療広域連合（上富良野町）	23.1%	1,952
4 北海道後期高齢者医療広域連合（津別町）	21.1%	1,114
5 北海道後期高齢者医療広域連合（愛別町）	20.0%	706

### 市町村国保

保険者名	マイナ保険証	
	利用割合	加入者数
1 北海島礼文町	33.3%	831
2 奈良県黒滝村	26.9%	175
3 奈良県上北山村	26.2%	91
4 東京都小笠原村	25.7%	878
5 北海道津別町	24.6%	1,041

### 国保組合

保険者名	マイナ保険証	
	利用割合	加入者数
1 香川県医師国民健康保険組合	16.9%	1,213
2 鳥取県医師国民健康保険組合	16.1%	1,053
3 富山県医師国民健康保険組合	15.8%	1,293
4 島根県医師国民健康保険組合	15.4%	1,821
5 鹿児島県歯科医師国民健康保険組合	15.1%	4,251

### （参考）

制度	マイナ保険証 利用者割合
1 全国健康保険協会	4.23%
2 健康保険組合	4.14%
3 市町村国保	5.76%
4 国民健康保険組合	4.80%
5 共済組合	4.54%
6 後期高齢者医療広域連合	2.89%
合計	4.16%



▲現行保険証存続を訴える伊藤事務局長＝10月19日

## 伊藤龍吾 山梨県保険医協会事務局長 山梨県社協事務局長 が訴え

「国民の声を丁寧な耳を傾ける」と言いつつ、傾けていくだけの岸田総理。国民の声は聞かない河野大臣。この人たちは、私たちの大変さは届きません。ちゃんとできないのなら、早く交代してください。それが国民の幸せの近道です。

失笑しかありません。保険証の存続は私たちの

今、マイナ保険証を使える医療機関や薬局は全国で88%を超えようとしていますが、驚くべきはその利用率の低さです。マイナ保険証の全体の利用率は4月の連続で下がり続け、8月には4・7%となりました。100人中5人くらいしか

利用しないという恥ずかしいくらいに不人気です。ところで、厚生労働省の審議会のひとつに「社会保障審議会 医療保険部会」というものがあります。9月29日に開催された同部会で、「8月の保険者別のマ

イナ保険証利用状況」という資料が発表され、各分野の保険者ごとの利用状況について上位5番までが紹介されました。それを見ると、驚くことに、公務員の平均利用率は4・5%程度です。従来の健康保険組合なども役立っています。それ

なので私たちは、「マイナカード」による保険資格確認は始まっていますが、今まで通り保険証を持参してください」と呼びかけるポスターを作成して、注意喚起しています。

「国民の声を丁寧な耳を傾ける」と言いつつ、傾けていくだけの岸田総理。国民の声は聞かない河野大臣。この人たちは、私たちの大変さは届きません。ちゃんとできないのなら、早く交代してください。それが国民の幸せの近道です。

9条改憲・「戦争する国づくり」の動きとして大増税・社会保障解体がすすめられる中、来年の秋には「マイナ保険証一本化・現行保険証の廃止」が国民に押しつけられようとしています。10月19日夕方、甲府駅南口広場でひらかれた毎月恒例の「19日集会」（主催は「戦争させない、9条壊すな！即刻総裁代行行動実行委員会」）では、山梨県保険医協会の伊藤龍吾事務局長（山梨県社協事務局長次長）がマイクを握り、「医療界からの発言」として、マイナ保険証をめぐる問題・矛盾、現行保険証の存続を訴えました。伊藤龍吾事務局長の発言要旨を紹介します。

利用しないという恥ずかしいくらいに不人気です。ところで、厚生労働省の審議会のひとつに「社会保障審議会 医療保険部会」というものがあります。9月29日に開催された同部会で、「8月の保険者別のマ

イナ保険証利用状況」という資料が発表され、各分野の保険者ごとの利用状況について上位5番までが紹介されました。それを見ると、驚くことに、公務員の平均利用率は4・5%程度です。従来の健康保険組合なども役立っています。それ

なので私たちは、「マイナカード」による保険資格確認は始まっていますが、今まで通り保険証を持参してください」と呼びかけるポスターを作成して、注意喚起しています。

「国民の声を丁寧な耳を傾ける」と言いつつ、傾けていくだけの岸田総理。国民の声は聞かない河野大臣。この人たちは、私たちの大変さは届きません。ちゃんとできないのなら、早く交代してください。それが国民の幸せの近道です。

国民には利用を推奨する省庁で 公務員のマイナ保険証利用率 4.5%



▲保険証持参を呼びかける保団連ポスター（右）と、マイナ保険証利用を呼びかける厚労省主導のポスター（左）との対照。

# 保険でより良い歯科医療の実現を

## 国会で歯科決起集会、総枠拡大で、歯科の未来切りひらこう

「保険で良い歯科医療を 全国連絡会」は10月26日、衆議院第2議員会館で、決起集会「歯科の未来、総枠拡大で切りひらこう」を開きました。歯科医療関係者、趣旨に賛同する国会議員など、会場とウェブを合わせて全国から300人が参加しました。山梨民医連から歯科医師、歯科技工士、事務ら5人が参加しました。



集会では、各地各層から 大綱や物価高騰などの影響発言がありました。▼コロナ で必要な歯科受診の抑制が危惧されていること、▼歯科医院の経営が危機的状況にあること、▼歯科技工士を取り巻く状況が大変厳しく、十分な収益(委託加工料)が確保できないこと、▼歯科技工士養成機関における入学者の減少、募集停止や廃止による養成機関の減少

の問題、▼子どもの歯科矯正について、学校歯科健診で咬合異常を指摘され受診しても、矯正が必要となれば自費診療になることが多く、等々が報告されました。



基調報告では、「歯科医療を取り巻く諸課題を解決するために、2024年の歯科診療報酬の大幅引き上げが必要」と強調。「権利として誰もが必要な歯科医療を受けられるように」の賛同を呼びかけました。集会後、国会議員要請を行い、山梨からの集会参加者を、県選出議員の控室を訪問し、『歯科酷書(第4弾)』を手渡しながら、困窮によって受診をためらった人々の口腔崩壊事例などを紹介。保険診療の充実を訴えました。



# いのちまもる総行動

## 東京・日比谷野音に3000人 山梨からもバスで24人参加



▲集会後、銀座をパレードする山梨の参加者たち

国に対して医療・介護・福祉の拡充を求める「いのちまもる総行動」が10月19日、東京・日比谷野音音楽堂を会場に行われました。医療団体や労働組合、中央社保協などをつくる実行委員会の主催。会場とオンラインをあわせて3000人が参加しました。山梨からは大型バスで24人が参加しました。

**あなたにも影響している生活保護基準**  
生活保護基準の影響……住民税の非課税基準 最低賃金  
生活保護基準を指標にしている制度が、国制度だけでも47も  
就学援助、国民健康保険や介護保険の保険料・自己負担額の申請減免、障害者支援サービスの利用料、小児慢性特定疾病医療費助成、難病法に基づく医療費助成、公営住宅の家賃減免  
保育所の保育料、幼稚園就園奨励費補助、高校生奨励給付金…



▲田川英信さん

田川さんは、「生活保護基準は、最低賃金、住民税非課税基準、就学援助の適用基準など、47もの国の制度の指標であり国民みんなの基準」と説明。自民党の選挙公約(1割削減)に促った国の保護基準切り下げによる利用者のきびしい生活実態を紹介し、「健康で文化的な生活とは言いえない」と指摘。裁判の早期解決を訴えました。



▲講演する高山理恵さん

# 生活保護基準と「いのちのとりで裁判」を学ぶ

山梨民医連の社会保障学校(第3回)が10月12日に開催され、いのちのとりで裁判全国アクション事務局の田川英信さんによるオンライン講演、高山理恵さん(社会福祉士)による講演、山梨民医連のソーシャルワーカーの支援を受けての事例検討会が行われました。

高山理恵さんと民医連SWの助言を受けて 相談事例から課題・支援策を探る検討会も

# 憲法が活きる政治を

## 11・3憲法集会in山梨に300人



日本国憲法が公布された11月3日、甲府駅北口広場よっちゃばれ広場で、「11・3憲法集会in山梨」が開かれ、300人が集まりました。

集会では、立憲民主・共産・社民・新社会・みどりの県内野党、県弁護士会、連合山梨、県内で活動する市民諸団体・個人らが登壇し、改憲を阻止し人権を守り発展させる決意を表明しました。

集会では、「国民主権・基本的人権の尊重・平和主義を基本原則とする憲法を改悪しようとする動きに反対するとともに、憲法を踏みしめる政治を行う自公政権への怒りを胸に、世界に誇る憲法を政治に活かす活動に力を合わせることを約束します。憲法が活きる政治をめざし、広く県民のみなさんと手を結び、力を合わせて奮闘する決意です」との集会アピールを採択しました。

集会後、会場のよっちゃばれ広場周辺をパレードして、「憲法を守りいかそう」と呼びかけました。

# 『社会保障』2023年冬号 第50回中央社会保障学校 from 岡山

- 生活保護基準引き下げ違憲訴訟——朝日訴訟のたまたかの歴史から何を学ぶべきか／則武透(NPO朝日訴訟の会長・弁護士)
- 社会保障運動入門／社会保障入門テキスト作成の経緯と活用方法の提案／村田隆史(京都府立大学准教授)
- マイナンバーカードの有無で公共サービスに格差?／中西裕康(備前市議会議員)
- 名古屋市の国保改善の運動／澤田和男(愛知県社会保障推進協議会副議長)
- 感染症に対応できる医療機関を増やすことが課題／大阪府関係職員労働組合
- クラスター発生で疲弊しきった介護施設／小林浩司(21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会)
- シンポジウム「生活保護基準引き下げ違憲訴訟では何が問われているのか」／森川潔子(岡山訴訟原告)・志賀信男(県立広島大学准教授)・上村真実(精神保健福祉士)・森岡佑貴(コーディネーター)／岡山弁護士会事務局
- マイナ保険証の問題点と保団連の取り組み／白石桃佳(全国保険団体連合会事務局)
- 連載・補聴器購入助成を上げよう【最終回】ねばり強い取り組みで全国に広がる公的補助制度／助成制度実現に向けた年金者組合の取り組み／廣岡元穂(全日本年金者組合副委員長)

購読・積極的活用をよびかけます

# 社会保障

冬号 2023 No.511